

ハート・オブ・ヨーロッパ チェコ

9月8日（金）英賀保小学校で国際理解出前講座を実施し、6年生143名が参加しました。講師は、チェコで4年間仕事をしていた黒田 健二さんです。



まず、チェコの地理について日本と対比させながら、クイズ形式で学びました。児童は、グループにわかれて、クイズに答えました。講師が正解を発表するたびに児童からは、歓声が上がリ、とても盛り上がりました。チェコは、ヨーロッパのほぼ中央に位置し、北海道と同じぐらいの面積で、大阪と同じぐらいの人口だそうです。また、日本と違い、

台風や地震などの自然災害がないそうです。

教育制度についても話がありました。小中一貫で、公用語のチェコ語以外に6歳から英語、11歳からはさらに英語に加えて、フランス語・ロシア語・ドイツ語・スペイン語なども学ぶようです。

また、食事の写真を見ながら、日本と違うところについて児童からいろいろな意見が出ました。

さらに写真とともに、街並みについて説明がありました。チェコは、第二次世界大戦の影響をあまり受けず、石畳の道や建物が昔のまま残っていて、歴史を感じることができるということです。

児童たちは、興味津々で、講義の後に物価、気候、国民性、スポーツ、ペットなどさまざまな質問が出ました。

最後に講師から歴史的背景を知ること、その国のことをより深く知ることができるという話がありました。現在歴史を学んでいる児童たちは、歴史を学ぶ意義を再認識できたようでした。

今回の講座が、世界のいろいろな国に目を向けるようになり、日本のことも世界と対比しながら、考えるきっかけとなることを願っています。

